

平成29年度 地域貢献研究助成費 実績報告書

平成30年3月30日

報告者	学科名	栄養学科	職名	教授	氏名	川上 貴代
研究課題	在宅における栄養支援推進のための評価システムの構築に関する研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	川上貴代	保健福祉学部・教授	栄養学	研究総括と分析	
	分担者	平松智子	保健福祉学部・准教授	臨床栄養学	分析	
		田淵真愉美	保健福祉学部・准教授	給食経営管理 学	分析	
多田賢代		中国学園大学・教授	応用栄養学	データ収集		
研究実績 の概要	<p>高齢社会を背景に、医・介護においては在宅療養および介護予防に重点が置かれるようになり、在宅での疾病のコントロールや予防において栄養状態を維持、改善することが生活の自立度低下、要介護度の上昇を阻止するために重要であることが確認されている。特に在宅現場においては嚥下機能障害、認知の低下、精神疾患や複数の合併を有するなど栄養支援が特に必要なケースが多いにもかかわらず、実際には在宅療養支援の場での管理栄養士による栄養食事指導の実施率はいまだ低い。また管理栄養士自身が在宅や栄養支援に関する学習の場が少ないことも課題である。本研究では管理栄養士養成課程や在宅訪問栄養指導のスキルアップや普及に向けて、在宅で求められる栄養食事支援のコアとなる知識・スキル・行動／態度に関する目標項目を確立すること、そして管理栄養士養成課程の学生に対して実用可能な教育法の試行・開発の基礎資料とした。</p> <p>研究1：在宅栄養支援の実践力に関する調査</p> <p>岡山県内の施設に勤務する訪問看護師、介護支援専門員、訪問介護員および管理栄養士を対象に在宅療養者に対する栄養ケア（支援）に対する自由記載形式のアンケート調査を行った。またDVD教材を用いた観察学習と模擬患者を用いた体験学習を行い、学生の在宅実践にかかる自己効力感に焦点をあて検討した。</p> <p>在宅栄養支援において管理栄養士に求める技術・能力において他職種からは「利用者」「コミュニケーション」「指導」、「合わせる」、「調理方法」「提案する」「生活」が、管理栄養士では「コミュニケーション」「利用者」「食支援の専門知識技術」が挙げられた。また在宅栄養支援の学習方法を検討したところ、自己効力感が高まりやすい観察学習に加えて、実際の在宅場面を想定した体験学習を行うことは具体的な課題の把握に役立つ学習法であると考えられた。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>研究2：在宅栄養支援場面を想定した管理栄養士の実践力向上のための教育方法および評価システム考案と試行</p> <p>在宅医療・介護が推進される現在、管理栄養士養成課程学生が在宅療養者に対する栄養支援の実際を理解し、在宅栄養管理に関する自律学修が行えるよう在宅栄養支援教育の充実が課題である。今回、DVD教材を用いた観察学習と模擬患者を用いた体験学習を行い、学習効果について自己効力感に焦点をあて検討した。A 大学管理栄養士養成課程3年時生62人を対象とし、3年次7月在宅高齢療養者への栄養指導場面のDVD視聴による観察学習を実施し、同じ学生に半年後模擬患者による在宅療養者との面接体験学習を実施した。「A.医療倫理と対人スキル」「B.記録、プレゼンテーション」「C.医療（介護）チームの一員での役割」「D.栄養アセスメント」「E.栄養診断」「F.栄養管理計画・栄養介入」「G.モニタリングと評価能力」の7つの学習分類からなる計25問を設定し、同一の自記式質問紙法により各学習前後に回答させた。4)「実践することが難しい」から「8割以上は実践できる」の5段階の回答肢にて回答し得点化したものを効力得点とし、各学習前後の合計効力得点と7つの学習分類ごとの効力得点を比較検討した。その結果、観察学習の合計効力得点は上昇したが、体験学習は前後で有意差はなかった。また学習分類C以外では学習後に効力得点の上昇がみられ、体験学習では全学習分類で前後に差がなかった。観察学習後の自己効力感が高まり易いが維持は難しく、体験学習後の自己効力感が高まり難いが学生自身の実践力不足の具体的な把握に役立つと考えられた。</p>
<p>成果資料目録</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Takayo Tada, Paul Moritoshi, Kanae Sato, Takayo Kawakami, Yuko Kawakami, Effect of Simulated Patient Practice on the Self-Efficacy of Japanese Undergraduate Dietitians in Nutrition Care Process Skills, Journal of Nutrition Education and Behavior, 2018. 2. Satoko Hiramatsu, Takayo Kawakami, Yasuyuki Irie, Chikako Mizote, Motohiro Fujii, Kenichi Kikumoto, Hisako Fujii, Comparison between estimated values and measured values in elderly people living at home whose weight is unmeasurable. 第11回南昌大学での東アジア栄養学会議, 南昌大学・南昌市、江西省・中国、平成29年12月7日